

2019年度

さくらんぼ



9月号

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会

舞鶴子ども発達支援施設「さくらんぼ園」(Tel.64-5798・FAX62-9171)

子どもの生活も、昼と夜の差が大きい方がよい。

アサガオは、毎日新たな花をつけ、しかも、次から次へと長く咲き続けるので、子どもたちを迎える花としてはこれ以外ないと思い、種をまきました。種をまいたのが5月中旬頃と遅かったので、一度にいくつもの花が咲き始めたのは8月に入ってからですが、毎朝水やりをしながら、新鮮な花を見るのはいいものだなと思っていました。しかし、ふと気づきました。午後からやって来る子は、しばみかけたアサガオの花しか見られないということ。しおれたアサガオの花に迎えられる、「これではやる気せんなあ。」と思った子もいたかも知れません。



ある日、一緒にお米作りをしている先輩が、「秋田県や山形県など、日本海側の方が、太平洋側よりもおいしいお米がとれるのはどうしてか知っている。」と聞いてきました。第一は土地や気候に適した品種改良でしょう。他に、冬の寒さが害虫をやっつけることや、雪解け水が豊富にあることもその要因になっているそうです。それから、夏の日本海側は、昼間は暖かく、夜は涼しい。この気温差が大きいことも、おいしいお米には大事なことであることも聞きました。でも、なぜ気温差が必要なのでしょう。

そのなぜを調べました。昼間、植物は太陽の光をいっぱい浴び、葉で生長するための養分を作り、体に蓄えます。「光合成」という言葉を覚えておられる方もあると思います。一方、夜は、光がないので、養分は作れません。しかし、夜も暑いと、生きていくためのエネルギーが余分に必要となり、せっかく貯めた養分を使ってしまうこととなります。だから、おいしいお米作りには、夜は活動を休ませる低い気温（気温差）が必要だということです。

人間は植物とは違うので、自分で養分を作ることはできませんし、このことを子どもの生活に結びつけることは、こじつけみたいなものですが、子どもも昼間は思いっきり遊び、夜は刺激を受けることなく静かに休むことが大事なのではないでしょうか。夜、ゆっくり休まないと、昼間のエネルギー（活動意欲）は低いものになるからです。子どもが遊ぶのは、それが楽しいから遊ぶわけですが、子どもにとって遊びは、成長していくために必要なものを蓄えるための活動です。子どもは、遊びの中で、社会のルールを身につけたり、友達との関係の築き方を学んだりします。体力や日常の技能も身につけます。その遊びを充実するために、さくらんぼ園や子どもたちが所属している保育所（園）等では、工夫を重ねています。ご家庭では、子どもが昼間元気に活動できる条件（家族の団らんや十分な睡眠など）を整えていただけるとありがたいです。それは、「基地」である家庭でしかできないことですから。

さくらんぼ園では、いまだにアサガオが咲き続けていますが、来年は昼からも咲いているひまわりの方がよいかなあと考えています。

9月もよろしく願いいたします。

園長 小谷 和弥
職員一同



療育表



| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------------|----------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|
| 2 午前療育 午後療育 | 3 午前療育 午後療育 | 4 午前療育 午後療育 | 5 午前療育 午後療育 | 6 保護者学習会 |
| 9 午前療育 午後療育 | 10 午前療育 午後療育 | 11 午前療育 午後療育 | 12 午前療育 午後療育 | 13 午前療育 午後療育 |
| 16 | 17 午前療育 午後療育 | 18 灘先生来園 午前療育 午後療育 | 19 午前療育 午後療育 | 20 午前療育 午後療育 |
| 23 | 24 午前療育 午後療育 | 25 午前療育 午後療育 | 26 午前療育 午後療育 | 27 午前療育 午後療育 |
| 30 午前療育 午後療育 | 10/1 午前療育 午後療育 | 2 午前療育 午後療育 | 3 午前療育 午後療育 | 4 午前療育 午後療育 |

9月の予定

◎ 9月6日(金) 保護者学習会

講師：作業療法士 灘 裕介先生

内容：～遊具や身近なものに触れて学ぶ
体験型の学習会～ です。

場所：うごきづくりのへや

時間：午前・午後それぞれの時間で行います

(申し込みされた方は時間をまちがえないように参加をお願いします)

★18日(水) 灘 先生 来園日

★山下浩二臨床発達心理士の相談は随時受け付けます。

◆10月15日(火) 21日(月) 23日(水)
24日(木) 25日(金)
母親教室を行います。予定に入れておいてください。

7、8月の子どもたち

梅雨明けとともに、酷暑の日が続きました。今後も、まだまだ暑い日があると思いますが、体調を崩さないように乗り切っていきたいものです。

さて、今回はさくらんぼ園での小集団遊びの様子を紹介したいと思います。

『たいこ橋』は登る遊具というとはえですが、逆に配置してゆらゆらシーソーのように遊びを体験することがありました。

すると、「もっとやりたい。」「つぎは、ほく。」と、子どもたちから要求の言葉がたくさん聞かれました。

物の使い方にとらわれず発想を変えることで、一人ひとりの意欲を引き出し、楽しい遊びにつながるんだと、スタッフも子どもの気持ちに共感できた療育でした。



主任
佐藤 育代

